

南相馬

ミュージアム通信

Minamisoma City Museum News

Vol. 4

平成 19年4月1日発行

編集・発行

南相馬市博物館

原町区牛来字出口 194

Tel 0244-23-6421

URL [http://www.city.](http://www.city.minamisoma.lg.jp)

[minamisoma.lg.jp](http://www.city.minamisoma.lg.jp)

南相馬市博物館 特別展

みんな集まれ！お宝だどお～

最近の博物館収蔵資料から

4月17日（火）～6月10日（日）

博物館の**お宝**ってなんだろう？と思われるでしょう。

博物館にとって、光り輝く金や銀、宝石類だけが**お宝**ではありません。

この南相馬市の自然、歴史、民俗、文化にとって大切なもの、つまり皆さんが生まれ育ち住んでいるこの地方のことを知る手がかりになるものすべて**お宝**なのです。

当館は、開館して12年目を迎えます。これまで多くの資料を収集し、3万1千点近くなりました。このことは市民みなさんの理解と協力があったからこそです。

今回、これまでの感謝の気持ちをこめて、収蔵資料のなかから、いままで公開していなかったものを展示し紹介します。

私たち市民にとって、**お宝**とはどういうものなのか知っていただき、そして新たな発見がそこにあることを望みます。

おもな展示資料

民俗 勝軍地藏

野馬追 版画「相馬野馬追」

自然 昆虫類標本（ツマキチョウほか）

考古 縄文土器（壺）・土錘・石包丁・磨製石斧

歴史 相馬将監関係文書・相馬充胤書額・陶器製弁当箱（鮭形）

ほか ※平成11年度以降に収集したものを中心に分野ごとに展示します。

期間中に展示解説会を開催します。詳細はポスター等をご覧ください。



勝軍地藏 松本良一氏所蔵

観覧料	一般	300円	(250円)
	高校生	200円	(150円)
	小中学生	100円	(80円)

※ () 内は団体料金

市内に居住・通学する小中高生は無料です。

博物館施設の組織機構改革

館名	4月1日以降
埴谷・島尾記念文学資料館	小高区所属の「博物館施設」→ 「図書館施設」へ移行
鹿島歴史民俗資料館	現行どおり 鹿島区所属の博物館施設
南相馬市博物館	「原町区」所属の博物館施設→ 「南相馬市」の博物館施設に変更

昨年度まで埴谷・島尾記念文学資料館（小高区）、鹿島歴史民俗資料館（鹿島区）、南相馬市博物館（原町区）の3館は「各区所属の博物館施設」として運営されてまいりましたが、4月1日の行政組織機構改革により、埴谷・島尾記念文学館は「図書館施設」に移行、鹿島歴史民俗資料館は現行どおり、南相馬市博物館は「原町区の博物館施設」から「市の博物館施設」に変更されました。

以上の機構改革を受けて、このミュージアム通信は、南相馬市博物館・鹿島歴史民俗資料館2館の広報紙となります。今後の埴谷・島尾記念文学資料館の情報は、市の広報紙でお知らせします。今後ともよろしくお願いいたします。

鹿島歴史民俗資料館より

企画展

古生代の主役 三葉虫と生きた、いまものたち

4月29日(日)～6月17日(日)

古生代は、カンブリア紀、オルドビス紀、シルル紀、デボン紀、石炭紀、ペルム紀(二畳紀)の6つの地質年代に分けられています。

今回の企画展では、南相馬市鹿島区西方山中に見られる福島県最古の大地：デボン紀の地層と石炭紀・ペルム紀の地層から産出された三葉虫、腕足類、ウミユリ、サンゴ、巻貝、二枚貝等にスポットを当て展示します。(鹿島区地域教育グループ、相馬中村層群研究会)

鹿島歴史民俗資料館

休館日：第三日曜日とその前日、国民の祝日

開館時間：午前9時～午後4時30分

入館料：大人110円 中学生以下無料

鹿島区西町三丁目1 Tel：0244-46-4281 FAX：Telと同じ



石炭紀(真野層)：三葉虫の尾部



石炭紀(真野層)：腕足類

南相馬市博物館より

常設展示室 ミニテーマコーナー

武具にしろされた祈り

4月1日(日)～7月1日(日)

武士は命がけで戦いにのぞむにあたり、神仏の加護・またはさまざまな吉祥にすぎり戦勝を祈りました。彼らはこのような風習を、戦場で身につける武器武具類にも応用し、信仰する神仏、霊獣、瑞祥文、縁起のいい動植物文、武威の高揚・戦勝祈願・自己の信念などをあらわした格言を文様としてしりました。これは、現代の野馬追でも所用されている武器武具や指旗にも見られ、いわば見どころのひとつとなっています。

今回のミニテーマコーナーでは、このような「祈り」が表現された武器武具類を数点紹介します。“常在戦場(常に戦場に在り)”を心がけ、戦勝のためにさまざまな吉祥にすぎった、武士たちの姿を想像してみてください。



ひしゃ かくぎょう わきだて かぶと
飛車・角行の脇立が付属する兜

個人所蔵

将棋で縦・横・斜めと自在に動ける飛車・角行の駒の脇立を付けることで、戦場における縦横無尽の活躍を祈念したものと考えられます。

野馬追の時期の特別陳列

会場 特別展示室

6月30日(土)~7月25日(水)

相馬野馬追の時期にあわせ、野馬追の歴史をしめす^{えまきもの}絵巻物・^{はんが}版画などの絵画資料や、野馬追には欠かせない武器武具類、ちょっと懐かしい野馬追グッズにいたるまで、普段公開されていない博物館収蔵資料をはじめ、野馬追関連の諸資料を紹介し
ます。



奥州相馬氏馬狩図

安永10年(1781)鳳雛写 当館所蔵

みなさん気がつきました...? 博物館内は変わりつつづけています



ミニテマコーナー



ビデオコーナー



展示ホール

年に4回ほど展示替えを行う「ミニテマコーナー」(左上)、季節の話題などを提供する「エントランスホール」や「展示ホール」(右上)、小高・鹿島の紹介ビデオ上映をはじめた「ビデオコーナー」(左下)

博物館が開館して以来、季節・時代の流れ、各分野の調査研究の進み具合、また、時代のニーズなどにより、博物館の中身は常に変化し続けています。

このような変化に、みなさんお気づきでしょうか...? 何度か足をお運びいただければ「あれ? こないだはこの資料置いてなかったな...」とか、新たな発見に気づくことがあるはずですよ。

展 示

展示内容が変わっています

常設展示室

各分野(自然・歴史・考古・民俗・野馬追)の調査研究が進み、展示資料の変更(例: 自然コーナー写真パネル、中世コーナーの甲冑→兜など)や、解説文の変更などを随時行っています。

また、平成14年2月から、展示替え可能なスペース「ミニテマコーナー」を設けて、文字どおり「小さな主題(ミニテマ)」のもとに年4回ほど展示替えを行っています。

エントランスホール・展示ホール

入り口すぐの「エントランスホール」や、その奥の「展示ホール」は、季節の話題(正月、上巳・端午の節句、野馬追ほか)や、その時々々のトピックを提供しています。

ビデオコーナー

小高・鹿島の紹介ビデオの上映をはじめました

今まで原町区(旧原町市)の紹介映画「すばらしき原町」(17分)のみを上映していましたが、小高区(旧小高町)紹介ビデオ「おだか・のどか日への誘い」(14分)と、鹿島区(旧鹿島町)の紹介ビデオ「時を超えて今・鹿島」(20分)の上映を開始しました。

「すばらしき原町」はシアターで、「時を超えて今・鹿島」「おだか・のどか日への誘い」はビデオコーナーでご覧いただけます。

南相馬市博物館の催し物

4月～7月

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。
問合せは 南相馬市博物館 0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
4月21日(土)	博物館講座 「南相馬の近代 —原町の原町的なところ」	13:30～15:30 定員 50名 講師 今村昭司氏(前南相馬市博物館長) 南新田村から原町村、そして原町へ近代の原町をたどるとき、原町の特色は?—という問題提起です。
4月22日(日)	体験学習 「みなみそうまの自然① サルと春の植物」 —阿武隈の住人「ニホンザル」を見てみよう!そして共生について考えよう!!	10:00～15:00 定員 20名(小学校3年生以下は保護者同伴) 講師 大槻晃太氏、今野文治氏、山田悟氏、橋本光平氏、飯田優貴氏(以上福島二ホンザルの会)、伊賀和子氏(福島県植物研究会) 市内の山地でサルと春植物を観察します。 【持ち物】お弁当、水筒、図鑑、ルーペ、双眼鏡、帽子、手袋、長靴など
5月13日(日)	民話の世界	10:30～12:00 語り部 渡辺弘氏、荒一之氏、宮本晴一氏、佐藤一子氏 会場: 旧武山家住宅(原町区北原字大塚) 古民家のいりばたで、ふるさとの民話を聞きます。
5月19日(土)	博物館講座 「古代の行方—律令と軍団」	13:30～15:30 定員 50名 講師 佐藤祐子学芸員 古代、律令制で設けられた「軍団」について学びます。
5月26日(土)	市内史跡めぐり	9:00～12:00 定員 22名 講師 当館学芸員 市内の史跡や、神社仏閣をめぐり、南相馬市の歴史について学びます。
5月27日(日)	体験学習 「化石採集」	13:30～15:00 定員 20名 講師 平宗雄氏(相馬中村層群研究会) 予定 南相馬市内に分布する地層から、化石を採集します。 【持ち物】軍手・新聞紙・ビニール袋 ※前日 16:00より事前説明会を予定。必ずお申し込みの上ご参加ください。
6月10日(日)	体験学習 「機織りとむしろ織り」	10:00～12:00 定員 20名 講師 機織り: 境司氏、鈴木ミドリ氏 織物の歴史と技術について学びます。 むしろ織り: 大谷正氏
6月16日(土)	博物館講座 「相馬地方の製塩」	13:30～15:30 定員 50名 講師 二本松文雄主査 江戸～明治時代には相馬地方の浦でさかんだ製塩について学びます。
7月7日(土)	体験学習 「馬装のしかた」	10:00～12:00 定員 20名 講師 二上裕嗣氏(社団法人 日本甲冑武具研究保存会評議員) 野馬追で使われる馬具の着方の仕方を学びます。
7月21日(土)	博物館講座 「野馬追意外史」	13:30～15:30 定員 50名 講師 二上文彦学芸員 知っているようで意外と知らない、野馬追の歴史を紹介します。

「古文書解読講座」【初心者向け】

4月1日・5月6日・6月3日・7月1日

南相馬市にかかわる江戸時代の古文書を実際に解読し、当時の様子を学びます。

今回のテキストは、幕末の「異国船渡来」に関するものです。

13:30～15:30 定員 20名

【持ち物】 原稿用紙・筆記用具



馬具の着け方や歴史を学びます
「馬装のしかた」



旧武山家住宅で民話を聞きましょう
「民話の世界」

各館のご利用案内

南相馬市博物館

問合せ 〒975-0051 原町区牛来字出口194 TEL: 0244-23-6421 FAX: 0244-24-6933
E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45(最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始 ※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日となります

観覧料 一般300円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円) ()は20名以上の団体料金です。

※企画展開催中は観覧料が異なることがあります。市内に居住・通学する小中高生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)

鹿島歴史民俗資料館

問合せ 〒979-2442 鹿島区西町三丁目1 TEL: 0244-46-4281 FAX: TELと同じ
E-Mail: k-shiryokan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:30 休館日 第3日曜とその前日。国民の祝日。年末年始(12月29日～1月3日)

観覧料 大人110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料